

ラトビア月報

【2023 年 8 月】



2023 年（令和 5 年）9 月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ カリンシュ内閣の総辞職
- ・ スィリニャ社会福祉大臣をリンケービッチ大統領が首相候補に指名
- ・ 組閣に向けた動向 (P. 1)

【経済】

- ・ スクルテの LNG ターミナルに関する協議は過去のもの (P. 3)

【外交】

- ・ バルト三国首相が G7 ウクライナ支援宣言に参加する声明を発表 (P. 4)
- ・ 長浜博行参議院副議長がラトビアを訪問 (P. 5)

【その他】

- ・ FIBA の女子 U20 バスケットボール欧州選手権でラトビアは銀メダルを獲得 (P. 5)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。
月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆カリンシュ内閣の総辞職

8 月 14 日、カリンシュ首相は 17 日付で辞任すると表明し、再度首相になることはないと述べた。17 日、同首相はリンケービッチ大統領に辞表を提出し、カリンシュ内閣は総辞職した（新内閣発足までは辞職後も職務を継続）。

◆スィリニャ社会福祉大臣をリンケービッチ大統領が首相候補に指名

8 月 24 日、リンケービッチ大統領は 16 日に「新・統一」の首相候補となっていたスィリニャ社会福祉大臣（「新・統一」）を首相候補に指名した。スィリニャ首相候補は 25 日より、「緑と農民連合」、「進歩党」、「統一リスト」及び「ナショナル・アライアンス」と組閣に関する協議を開始した。

◆組閣に向けた動向

8 月 29 日、スミルテーンズ国会議長（「統一リスト」）はスィリニャ首相候補との会談後、「同首相候補より『緑と農民連合』及び『進歩党』と共に連立与党入りするよう求められた」と述べた。その後、「統一リスト」はスィリニャ首相候補の提案した連立与党のモデルは十分効率的でないので、スィリニャ首相候補を首相とする他の代替案を提案すると発表した。30 日、「統一リスト」は「新・統一」、「統一リスト」及び「ナショナル・アライアンス」を中心とした連立与党を形成し、レンベルクス・ベンツピルス前市長の影響を排除するよう求めた。

◆中央選管は大統領を民選にする憲法改正案のための署名集めを開始

8 月 3 日、中央選管は「調和」が策定した大統領を民選にする憲法改正案の署名集めを開始した。有権者（18 歳以上のラトビア国籍保持者）は 2023 年 8 月 4 日から 2024 年 8 月 3 日までインターネット、住民登録をしている地方自治体及び公証人並びに在外公館等で同案に署名することが可能であり、有権者の 10 分の 1（約 15 万）の署名が集まった場合、同案は大統領に提出され、大統領は同案を国会に提出する。もし、国会が同案を内容の変更を行わずに採択しなかった場合、同案は国民投票に諮られる（憲法第 78 条）。

◆7 月の政党支持率

8 月 8 日、ラトビアテレビは、7 月の世論調査結果を公表した。調査によると、「新・統一」が第 1 位、「緑と農民連合」が第 2 位となり、「進歩党」が第 3 位となった。一方で、「LPV（ラトビア・ファースト）」は今月最大の下落幅となった。

政党名（%、括弧内は前回の国会選挙の得票率）	支持率 （%、括弧内は 2023 年 6 月の値）
「新・統一」（18.97）	12.6（11.5）
「緑と農民連合」（12.44）	8.0（7.5）
「統一リスト」（11.01）	4.6（5.8）
「ナショナル・アライアンス」（9.29）	5.3（6.6）
「安定のために」（6.80）	5.1（5.0）
「LPV（ラトビア・ファースト）」（6.24）	7.4（10.0）
「進歩党」（6.16）	7.9（9.0）
「PLI」（4.97）	－（－）
「調和」（4.81）	3.6（4.2）
「プラットフォーム 21」（3.67）	0.3（0.5）
「ラトビアのロシア連合」（3.63）	－（－）
「主権」（3.24）	1.5（1.4）
「保守党」（3.09）	1.5（1.0）
「Movement For」	1.7（0.9）
「ラトビアの発展のために」	1.3（1.3）
「基礎 LV」	1.1（0.7）

（政党は上から 2022 年 10 月に実施された第 14 回国会選挙で獲得票数が多かった順）

◆8 月 11 日より国境警備システムの強化体制を発令

8 月 10 日、政府はルザ地区、クラスラヴァ地区、アウグシュダウガヴァ地区及びダウガウピルス市で 2023 年 8 月 11 日から 2024 年 2 月 10 日まで国境警備システムの強化体制を発令した。同体制は 6 月 22 日に国会が採択した改正ラトビア共和国国境法を基に発令された。同体制下では人や車両等の移動制限、具体的な国境通過点の完全若しくは一部の停止又は具体的な場所に許可なしでの入場等を制限したり、物品、医薬品、エネルギー資源又はサービスを確保するための特別秩序を設定したりすることが可能となる。

2021 年 8 月 11 日から 14,000 人以上の違法越境を阻止した。2023 年 1 月より人道的理由により 282 人（117 人は未成年者）の入国を認めた。

◆リガ市議会はキルスィス・リガ市長代行をリガ市長に選出

8 月 17 日、リガ市議会は「新・統一」、「ナショナル・アライアンス・ラトビア地域連合」、「Code for Riga」、「リガに奉仕する光栄」、「ラトビアの発展のために」及び「For!・進歩党」の中で「Movement For」に所属する議員並びに無所属議員の一部の合計 33 議員

の賛成、17 議員の反対により、キルスィス・リガ市長代行をリガ市長に選出した。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆スクルテの LNG ターミナルに関する協議は過去のもの

8 月 25 日、チュダルス気候・エネルギー大臣はテレビのインタビューで「スクルテの LNG ターミナルに関する協議は過去のものである」と述べた。同大臣はこの地域の天然ガス・インフラは開発済みであり、必要量を確保することができ、緊急時にはエストニアのパルディスキ LNG ターミナルよりガス供給を受けるための合意もあると指摘した。

◆2023 年 7 月の消費者物価上昇率は 6.4%

8 月 8 日、中央統計局は、2023 年 7 月の消費者物価上昇率が前年同月比 6.4%、前月比では 0.7%となったと発表した。6 月と同様、7 月の物価上昇は、主に食品・ノンアルコール飲料及び住宅関連のエネルギー価格の上昇の影響を受けた。

◆2023 年上半期のエア・バルティック社の利益は 1,460 万ユーロ

8 月 9 日、エア・バルティック社によると、2023 年上半期の同社の純利益は赤字だった前年同期と比較して 1 億 570 万ユーロ増の 1,460 万ユーロ、売上は前年同期比 52%増の 2 億 9,130 万ユーロになったと発表した。

この他、2023 年上半期の同社の利用者数は前年同期比 52%増の約 200 万人となり、同期の便数は前年同期比 20%増の 20,300 便だった。

◆2023 年 7 月の失業率は 5.6%

8 月 10 日、国家雇用庁は 2023 年 7 月末の失業率は前月末比 0.1%増の 5.6%になったと発表した。

◆2023 年第 2 四半期の失業率は 6.4%

8 月 15 日、中央統計局は 2023 年第 2 四半期の失業率は前期比変化なし、前年同期比 0.2%ポイント減の 6.4%であったと発表した。若者（15 歳～24 歳）の失業率は前年同期比では 5.2%ポイント減、前期比 3.8%ポイント減の 9.6%となった。長期失業者（12 か月以上失業している人）が全失業者に占める割合は前年同期比 2.7%ポイント減、前期比 1.2%ポイント増の 29.7%となった。

◆2023 年第 2 四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 13.7%増

8 月 16 日、中央統計局は 2023 年第 2 四半期のラトビアの宿泊施設利用者数が前年同期比 13.7%増の約 632,500 人であったと発表した。このうち外国人は前年同期比 25.1%増

の約 364,200 人となった。一方、ラトビア国内からの宿泊施設利用者数は前年同期比 1.2% 増の約 268,300 人であった。

◆エア・バルティック社は 2024 年夏季シーズンにリガより 7 都市へ就航

8 月 29 日、エア・バルティック社は 2024 年夏季シーズンのスケジュールを発表した。これによると、同社は 2024 年夏季シーズンにリガよりアリカンテ（スペイン）、ティラナ（アルバニア）、ソフィア（ブルガリア）、リュブリャナ（スロベニア）、スコピエ（北マケドニア）、キシナウ（モルドバ）及びプリシュティナ（コソボ）の 7 都市へ新たに就航する予定。

◆2023 年第 2 四半期の平均月給は 1,525 ユーロ

8 月 30 日、中央統計局は、2023 年第 2 四半期の平均月給は対前年同期比 12.0%（163 ユーロ）増の 1,525 ユーロ、手取りの平均月給は前年同期比 11.7%増の 1,114 ユーロとなったと発表した。

◆「Conexus Baltic Grid」社の 2023 年上半期の売上額は前年同期比 17%増

8 月 30 日、「Conexus Baltic Grid」社は 2023 年上半期の売上額は前年同期比 17%増の 3,240 万ユーロになったと発表した。

同期にリトアニアから輸送された天然ガスは前年同期比 41%増の 9.2TWh、エストニアから輸送された天然ガスは前年同期比 6.6 倍の 2.2TWh となり、同期にラトビアへ輸送された天然ガスは合計 14.7TWh となった。また、同期末日のインチュカルンス天然ガス貯蔵施設に保存されている天然ガスは過去 5 年間で最大となる 13.9TWh となった。

◆2023 年第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比 0.5%減

8 月 31 日、中央統計局は、2023 年第 2 四半期の名目 GDP は 102 億ユーロ、実質 GDP 成長率（前年同期比）は 0.5%減であったと発表した。また、前期比では 0.3%減（季節調整値）となった。部門別では、建設（対前年同期比 15.4%増）、情報・通信サービス（10.1%増）及び芸術・娯楽（8.7%増）等の部門で成長がみられた一方、製造業（7.9%減）及び農業・林業・漁業（6.0%減）等では縮小した。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆バルト三国首相が G7 ウクライナ支援宣言に参加する声明を発表

8 月 17 日、ラトビア、エストニアおよびリトアニアの首相はタリンでの三首相会合の前日に G7 ウクライナ支援宣言に参加する声明を発表した。バルト三国首相は声明において、「ウクライナが勝利するまで支援を続け、NATO 加盟のみがウクライナに将来必要

な安全を保証するものである」と確認した。カリンシュ首相は、「本日バルト三国は G7 ウクライナ支援宣言への参加に関する声明を発表した。声明では我々はウクライナが勝利し、経済的安定と復興、強靱性、改革そして欧州と環大西洋を目指すことを支援する」とツイートした。

◆長浜博行参議院副議長がラトビアを訪問

8 月 24 日から 27 日まで長浜博行参議院副議長を団長とする参議院議員団がラトビアを訪問し、カリンシュ首相、ムールニエツェ国防相、カルニニャールカシエヴィツァ国会副議長及びベルグマニス対日友好議連会長と会談した。カリンシュ首相は、長浜副議長と会談後、X（旧ツイッター）に、「長浜参議院副議長をお迎えできて嬉しく思う。ラトビアと日本は共通の価値を共有している。我々は引き続きルールに基づく国際秩序を守り、ウクライナとともにある。我々の二国間経済協力関係が深化することを楽しみにしている」と投稿した。

◆リンケービッチ大統領のポーランド訪問

8 月 16 日、リンケービッチ大統領はポーランドを訪問し、ドゥダ・ポーランド大統領と会談した。リンケービッチ大統領は地域の安全保障におけるポーランドの役割と貢献に謝意を述べるとともに、特にエネルギー、情報通信分野およびレールバルティカにおけるポーランドからの投資誘致に関心を表明した。また同大統領は、ウクライナへの支援を継続することの重要性を強調した。また、両大統領はベラルーシのワグネル・グループの活動とその安全保障リスク、三海域イニシアティブ、ウクライナの穀物と農作物の第三国への輸出に対する支援の可能性、在ラトビア・ポーランド人コミュニティについて協議した。

◆クチンスキス内相のバルト三国およびポーランド内相会合出席

8 月 28 日、クチンスキス内相はワルシャワにてバルト三国およびポーランド内相会合に出席した。会合では、ロシアとベラルーシとの EU 対外国境の安全保障を確保することは、この 4 カ国の政権の優先事項の一つであると強調した。同内相はベラルーシ国境の状況はますます緊迫化しており、ウクライナ戦争とワグネル・グループのベラルーシでのプレゼンスはリスク要因であると認めた。会合後に発出された共同声明では、国境を封鎖することにより、ロシアとベラルーシを完全に孤立させる可能性がある」と指摘している。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆FIBA の女子 U20 バスケットボール欧州選手権でラトビアは銀メダルを獲得

8 月 6 日、リトアニアのクライペダで開催された FIBA（国際バスケットボール連盟）の女子 U20 バスケットボール欧州選手権の決勝戦でラトビアはフランスに 59 対 85 で敗

れて銀メダルを獲得した。5 日の準決勝ではラトビアはセルビアに 56 対 53 で勝利した。ラトビアは女子 U20 バスケットボール欧州選手権で 2005 年、2009 年及び 2010 年に銅メダルを獲得しているが、決勝戦まで進んだのは今回が初めて。

◆ラナ・パウラ氏逝去

8 月 4 日、有名な作曲家であるライモンズ・パウルス氏の妻であるラナ・パウラ氏が 84 歳で逝去した。今年の 8 月 31 日に結婚 31 周年を祝福する予定であった。

◆ラトビア住民の国会に対する評価は過去 20 年間で最低

8 月 23 日、民間調査会社 SKDS が 7 月に実施した調査によると、ラトビア住民の 14% のみが現国会は前国会より良いと評価しており、これは過去 20 年間で最低レベルであった。また、56% は現国会が前国会より良くないと評価した。第 8 回国会から第 13 回国会まで国会が初召集されてから約 1 年後に現政権が前政権より良いと思っている割合は第 8 回国会が 35%、第 9 回国会が 20%、第 10 回国会が 15%、第 11 回国会が 24%、第 12 回国会が 16%、第 13 回国会が 16%となっている。

◆「ラトビア・ファースト」は国会解散を求めるデモを開催

8 月 26 日、シュレッセルス「ラトビア・ファースト」党首は自由の記念碑前の広場で国会解散を求めるデモを開催し、バロディス中央選管委員、ペトラヴィツァ元社会福祉大臣、クリシュトパーンズ元首相等を含む約 500 人がデモに参加した。多くのデモ参加者は「国会解散！」と書かれた T シャツを着て、一部の参加者はラトビア国旗を手にしていた。

シュレッセルス党首は、ラトビアの人口が減少している中でロシア国民にラトビア語試験を義務付ける政策やリンケービッチ大統領が自らの元所属政党である「新・統一」所属のスイリニャ社会福祉大臣を次期首相候補に指名したこと等について触れ、現政権等を批判した。また、シュレッセルス党首はスイリニャ首相候補に問題解決の計画策定及びその実行を求め、これがなされない場合、11 月 1 日より国会解散のための署名集めを開始すると述べた。

(了)

2023年8月の主な出来事

	【内政】	【外交】
8月	10日、政府は国境警備体制の強化を決定 14日、カリンシュ首相、17日付で辞任することを表明 16日、「新・統一」、スィリニャ社会福祉相を首相候補に指名 17日、カリンシュ首相、リンケービッチ大統領に辞表を提出 17日、リガ市議会、キルスイス・リガ市長代行を市長に選出 24日、リンケービッチ大統領、スィリニャ社会福祉相を大統領候補に指名 25日、スィリニャ首相候補、「緑と農民連合」、「進歩党」、「統一リスト」及び「ナショナル・アライアンス」と組閣に関する協議を開始	16日、リンケービッチ大統領、ポーランド訪問 17日、バルト三国首相、G7ウクライナ支援宣言への参加を表明 28日、クチンスキス内相、バルト三国およびポーランド内相会合出席（於ワルシャワ）

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	26,984	29,154	30,679	30,265	33,617	39,063	9,149	10,172	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	13,901	15,135	16,035	15,922	17,853	20,709	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	3.3	4.0	2.6	▲ 2.3	4.3	2.8	0.8	▲ 0.5	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	67	69	69	72	72	74	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)

財政収支, 政府債務残高

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 208	▲ 245	▲ 178	▲ 1,321	▲ 2,398	▲ 1,721	▲ 79	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.4	▲ 7.1	▲ 4.4	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,493	10,784	11,209	12,711	14,688	15,947	17,101	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	38.9	37.0	36.5	42.0	43.7	40.8	-	-	公式統計ポータル

失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
失業率	%	8.7	7.4	6.3	8.1	7.6	6.9	6.4	6.4	公式統計ポータル
消費者物価上昇率	%	2.9	2.5	2.8	0.2	3.3	17.3	19.7	11.7	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	926	1,004	1,076	1,143	1,277	1,373	1,462	1,525	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	676	742	793	841	939	1,006	1,071	1,114	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	380	430	430	430	500	500	620	620	公式統計ポータル

対内直接投資(FDI)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	14,741	15,334	16,050	16,799	21,196	22,564	23,274	23,764	中央銀行

貿易統計

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	11,647	12,773	12,966	13,305	16,452	21,361	5,125	4,500	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	14,177	15,793	15,914	15,159	19,519	26,496	5,832	5,932	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 5,135	▲ 707	▲ 1,432	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	50,526	53,343	56,637	50,099	76,889	84,296	14,105	11,364	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	22,282	25,668	27,999	21,738	24,490	26,795	6,829	4,833	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	28,244	27,675	28,638	28,361	52,399	57,501	7,276	6,531	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	7,573	7,325	5,794	4,459	5,809	4,343	982	1,137	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	8,017	8,847	8,868	8,650	10,088	16,769	3,259	2,324	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 12,426	▲ 2,277	▲ 1,187	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 Q1	2023 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,487	2,551	2,701	393	197	631	525	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	24,576	29,534	20,416	2,358	396	1,229	509	813	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2023年8月末現在、1ユーロ＝160円程度。

(2023年9月1日まで公表分のデータ)